



實性

平成二十四年 第四号 秋彼岸発行

秋のお彼岸ご案内

秋彼岸の由来

お彼岸は、菩提の種をまく仏道修行の週間です。

ご家族の皆様お揃いでご参詣下さい。

心の安らぎと後に続くお子様に良いお手本を示して下さい。

そもそも「彼岸」とは、こちら側の岸（現在私達が生きている世界）に対する向こう側の岸、つまり、極楽浄土（さとり

の世界）を意味します。

このお彼岸は、向こう岸にわたる為に、六つの「六波羅蜜」を修して、身を高める一週間です。「六波羅蜜」とは、

一、布施（ふせ） 思いやりの心、やさしい心を持つこと
二、持戒（じかい） 誠実に、しっかりとした生活を送ること
三、忍辱（にんにく） 質素に、我慢強く生きること
四、精進（しょうじん） 勤勉な意欲を持つこと
五、禪定（ぜんじょう） 冷静に物静であること
六、智慧（ちえ） 勉強、向上心を持つこと

日頃常にこの「六波羅蜜」を行うには困難ですが、せめて秋の一週間は意識を持ちたいものです。

秋彼岸会法要

お中日

九月二十二日（土）

午前十一時より



境内に彼岸花がたくさん咲きます
お花と共に皆様のお参りを
お待ちしております。

お彼岸入り

九月 十九日（水）

お彼岸中日

九月 二十二日（土）

お彼岸明け

九月 二十五日（火）

お彼岸のお塔婆はお早めに

お申し込み下さい。

法然上人の御詠

孟蘭盆会でご紹介いたしました、法然上人の御詠（和歌）を改めてご案内させていただきます。法然上人の御詠のご紹介は、四回目となります。

法然上人御詠

一、さへられぬ

光もあるを おしなべて
へだてかはなる あさがすみかな

法然上人の春の詩として有名です。

さえぎることの出来ない光もありますが、すべて一様に、春の朝霞の中では区別できません。このように仏の光も遍く行き渡っているのです。

一、阿弥陀仏と

十聲唱えて まどろまん
ながきねぶりに なりもこそする

睡眠の時に唱えるお念仏のことを示されています。
眠る前にさえ南無阿弥陀仏と十遍お唱えして眠りましょう。
もしかしたら、永遠の眠りになるかもしれないのですから。

一、池の水

人の心に 似たりけり
にぎりすむこと さだのなければ

池の水は人の心によく似ています。濁ったり澄んだりしています。濁りに負けないで、清らかな心を大切に。

一、いけらば

念仏の巧つもり
しなば浄土へまいりなん

とてもかくても此の身には
思ひわづらふ事ぞなき

どんな辛いこの世の中であっても、本願を信じてお念仏を唱えればそのお念仏の功德により、必ず浄土に生れることが出来ます。どのようなことがあっても、お念仏を申す人は、思い悩むことは何もありません。

孟蘭盆会ご報告

七月十四日（土） 八月十三日（月）孟蘭盆会が厳修されました。
七月は六十三名様、八月旧盆は二百五十八名様がご参加なされました。
新盆の諸精霊、先祖代々等のご回向、さらには、参加者各位家内安全、無病息災、そして、東日本大震災物故者追善菩提の法要でした。
法話は、前記の法然上人の四つのお詠を、ご紹介させていただきました。
住職の話聞いていただいた証しにと、春彼岸には「銀色の招き猫」をお渡ししましたが、今般のお盆には「金色の招き猫」を用意致しました。皆様のお家に幸せが訪れますようにと願いを込めた「招き猫」です。
また、ご参加のお子様たちには、平穏と鎮魂のハトの風船をお土産にさせていただきました。



孟蘭盆会法要が厳修されました





法然上人の四つのお詠をご紹介します



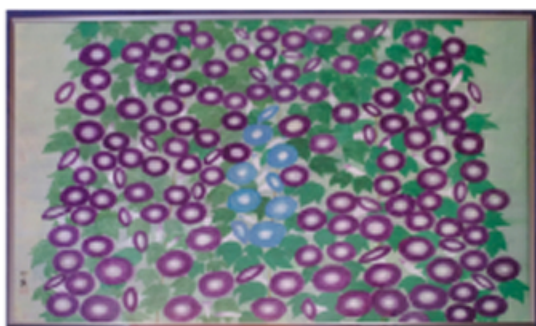
お焼香の様子



法要の記念のお土産「白いハト風鈴」と「金色の招き猫」

朝顔の絵

檀徒様・花畑四丁目在住の合田正忠様より、大作「朝顔の絵」のご寄贈がございました。合田先生は、日本画の先生で、日本芸術協会正会員であられ、合田宝麗というお名前でご所展覧会に出品されております。百号をこす大作で「エコ・カーテン」と題されたすばらしい作品です。（下、写真参照）また、大きい作品にて、本堂への渡り廊下に飾らせていただきました。お参りの折には是非ご覧ください。



第十二回実性寺寄席

実性寺寄席を左記のように開催致します。ご家族ご近所お知り合いお誘い合わせのうえご来寺下さい。

日時 十月二十八日(日)

開場 午後五時半

開演 午後六時

場所 実性寺本堂

木戸銭 六百元



元師 鶴代さん
肝煎 遠山長明
席亭 井口勝彦
世話役 睦月会

絵のあるお経の本

本年度新亡奉納金並びに本年度御仏具料にて、絵の入ったわかりやすい経本を製作いたしました。カラーにて、実性寺オリジナルの経本です。ご法要等で皆様と共に使いたいと存じます。



☆ ご法要等のお塔婆を建立される方は、遅くとも十日前までにお申し込み下さい。お電話よりファックスの方が正確でございますのでご利用下さい。

ファックス番号

03(3883) 3227

振替口座

00190-6-258873

振込用紙をご入用の方はお申し出下さい。

浄土宗 実性寺

〒121-0061

東京都足立区花畑三十七ー十八
電話 03(3883) 8866